

# 本宮市の人口ビジョンは？

人口の現状と将来の展望を示す「本宮市人口ビジョン（第1版）」と、人口ビジョンを踏まえ、急速な少子高齢化の進展と若年層の東京圏への流出に対応し、人口減少に歯止めをかけ、地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的とした向こう5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「住みたいふるさと」とみや創生総合戦略（第1版）（以下、総合戦略）」を策定しました。その概要をお知らせします。※

## I . 本宮市の現状は？

- 東日本大震災及び原発事故が大きく影響し、人口は平成 22（2010）年から減少傾向に転じています。
- 年少人口が減少する一方で老年人口は増加しており、少子高齢化が年々進行しています。
- 震災直後に急激な転出超過がみられましたが、近年では歯止めがかかっています。
- 近年合計特殊出生率・出生数が上昇・増加しましたが、その一方で死亡数も増加しているため、自然減が続いている状況にあります。

## II . 将来人口の推計はどうなる？

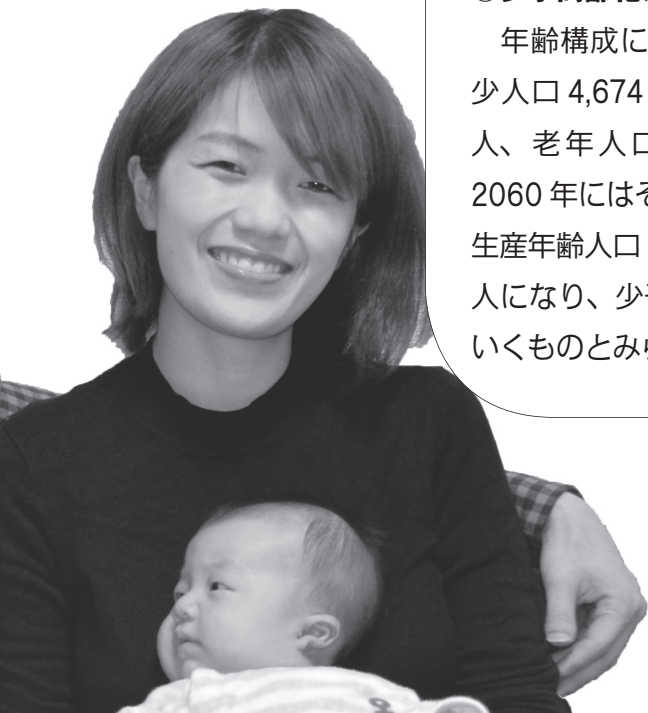
### ○ 45 年後には人口 21,164 人か？

平成 22（2010）年まではほぼ横ばいで推移していましたが、平成 23（2011）年の東日本大震災と原発事故を機に減少傾向に転じました。その後、平成 25（2013）年からは回復傾向にあります。東日本大震災と原発事故後の 2 ヶ年の人口減少が影響するとともに、さらには全国的に進行する少子高齢化も相まって、減少傾向が断続的に続く見込みです。

このまま推移すると、2010 年で 31,489 人の人口が、45 年後の 2060 年には 21,164 人に減少するものと見通しています。

### ○少子高齢化が加速する？

年齢構成については、2010 年での年少人口 4,674 人、生産年齢人口 19,582 人、老年人口 7,232 人であるものが、2060 年にはそれぞれ年少人口 2,317 人、生産年齢人口 10,798 人、老年人口 8,049 人になり、少子高齢化がさらに加速していくものとみられます。



※全編版は本宮市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

問 定住対策室 ☎ 24- 5 3 2 3

### Ⅲ. 目指すべき将来の方向は？

#### (1) 高いポテンシャルを活かした定住・移住の促進

「住むまち」としての高いポテンシャルを最大限に活かし、さらなる住みよいまちづくりと情報の発信を行いながら、定住・移住を促進し、社会動態人口の増加を図ります。

#### (2) 市民のライフステージを意識した希望の実現

若い世代の仕事・結婚・出産・子育ての希望に応え出生率の向上を目指すとともに、さらに、全ての世代の希望が実現し笑顔で健やかに暮らせるよう健康長寿のまちづくりを進め、自然動態人口の増加を図ります。

#### (3) 賑わいのある持続可能な「ひと」と「地域」の創造

福島県のほぼ中央に位置し、交通アクセスに優れ、人や物、文化・情報等の交流の要衝となっている地の利を活かし、好循環の仕組みづくりを行いながら、持続可能な「人」と「地域」の創造を図ります。

### Ⅳ. 人口の将来展望は？

社会動態と自然動態の仮定値を設定し、市の人口の将来を展望しました。その中でも最も高い仮定による推計人口24,537人（2060年）を視野に入れつつ、地域や時代のニーズ等に応じた社会・自然増加策を講じ、さらなる上昇を目指していきます。

